



プレスリリース

2016・11・7

2016～2017 日本自動車殿堂イヤー賞

NPO 法人 日本自動車殿堂 会長 小口 泰平 (芝浦工業大学名誉学長)

理事 イヤー賞選考委員会 委員長 藤本 彰

理事 イヤー賞選考委員会 主幹 寺本 健

〒165-0026 東京都中野区新井3-4-5

Tel&Fax : 03-3385-0223

E-mail : oguchi@jahfa.jp 携帯 : 090 - 2437- 7701

<http://www.Jahfa.jp>

2016～2017 日本自動車殿堂 イヤー賞 4賞の発表

2016～2017 日本自動車殿堂カーオブザイヤー (国産乗用車)

「トヨタ プリウス」および開発グループ

アイコンニック ヒューマンテック思想の追求

革新的アーキテクチャー (TNGA)

洗練されたユーザーインターフェース

2016～2017 日本自動車殿堂インポートカーオブザイヤー (輸入乗用車)

「フォルクスワーゲン ゴルフ トゥーラン」およびインポーター

独自のスタイリングによるコンパクトMPV

高効率のブルーモーションテクノロジー

MQBによる快適居住性とシートアレンジ

2016～2017 日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー (国産・輸入乗用車)

「ダイハツ ムーヴ キャンバス」およびデザイングループ

新感覚のミニバス スタイル

商品力を高めたセーフティサポート

利便性を追求したインテリア デザイン

2016～2017 日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー (国産・輸入乗用車)

「ホンダ クラリティ フェーエル セル」および開発グループ

小型化された燃料電池パワートレイン

一充填走行距離 750km を実現

外部給電器による利便性の拡大

以上

参考資料 1

2016～2017 日本自動車殿堂イヤー賞投票結果（各賞ベスト3）

2016～2017 日本自動車殿堂カーオブザイヤー		(MAX : 1200 点)
1 位	「トヨタ プリウス」	979 点
2 位	「日産 セレナ」	939 点
3 位	「ホンダ フリード」	806 点
2016～2017 日本自動車殿堂インポートカーオブザイヤー		(MAX : 1200 点)
1 位	「フォルクスワーゲン ゴルフ トゥーラン」	1027 点
2 位	「ルノー トゥインゴ」	824 点
3 位	「ボルボ XC90」	754 点
2016～2017 日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー		(MAX : 800 点)
1 位	「ダイハツ ムーヴ キャンバス」	591 点
2 位	「ジャガー F-PACE」	590 点
3 位	「フェラーリ GTC4 ルッソ」	490 点
2016～2017 日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー		(MAX : 1000 点)
1 位	「ホンダ クラリティ フューエル セル」	778 点
2 位	「日産 セレナ」	759 点
3 位	「ホンダ NSX」	695 点

参考資料 2

日本自動車殿堂・イヤー賞の選考要領（抜粋）

1. イヤー賞 4 賞の選考

当該年度において発売された「最も優れた乗用車・輸入車・デザイン・テクノロジーおよびそれらの開発グループ等」を表彰する。

2. 年次の選考対象期間

本年度の新型車の対象期間は、2015 年 11 月 1 日から 2016 年 10 月 20 日までをその期間とする。

3. 選考方法

- (1) イヤー賞は、選考の客観化と定量化そして高質化を目指し事前に各賞の選考委員集団の評価特性を位置付ける。すなわち、評価を行う側の委員の評価特性を「実用利便性」「経済性」「先進性」「安全性」「環境性」「審美性」などの項目により計量・解析し、レーダーチャートによって提示する。
- (2) 各賞の選考は、選考委員の投票によって行う。
- (3) 選考委員は、自動車研究に係る大学教授や研究開発機関の研究者等とし、4 賞に延べ 45 名があたる。
- (4) 選考の投票には、総合評価および階層分析法 (Analytic Hierarchy Process) を組み合わせた選考準備委員会が構築した方式（データの正規化などによる評価の客観化・定量化）を用いる。

以上

